

発掘された映画たち 2022

Cinema: Lost and Found 2022

2022年5月3日（火・祝）－5月22日（日）

国立映画アーカイブでは、5月3日（火・祝）より、上映企画「発掘された映画たち」を4年ぶりに開催いたします。今回で11回目を迎える本企画では、新たに発掘・復元された日本映画の名匠による作品群を中心に、計58本・19プログラムを上映します。会期中には、専門家や当館研究員のトークイベントや、弁士・伴奏付きの上映も行います。当館による近年の映画収集・保存・復元活動の成果をご覧いただくことで、映画保存の大切さを再認識する機会となることを願っております。



『狂った一頁』

開催に先立ち、4月20日（水）15時より、記者発表会（3頁参照）も行います。ご多用の折とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。申し上げます。

本特集の見どころ

《日本映画の名匠による作品群》

『明日は日本晴れ』（1948年、清水宏監督）

長らく上映の機会が失われていた清水宏の戦後第2作。世界的に再評価が進む名匠・清水の新たな一面を見せた重要作です。

『狂った一頁』（1926年、衣笠貞之助監督）の青染色版

戦前日本におけるアヴァンギャルド映画の代表作『狂った一頁』（1926年）の35mm可燃性・初号プリントに青染色が施されていることが明らかに！ユーゴスロヴェンスカ・キノテカ（セルビア）で発見された『鬼あざみ』（1927年、衣笠貞之助監督）とともに初上映します。

マキノ正博主催のC.A.C.（映画芸術家協同）が製作した『生きてゐた幽霊』（1948年）と『今日われ恋愛す』（1949年）

『生きてゐた幽霊』は、可燃性オリジナルネガから新たに作製した35mmプリントでの上映。『今日われ恋愛す』は、轟夕起子研究で知られる山口博哉氏が自ら発掘した16mmプリントをもとに、当館が新たに作製したプリントで上映。

生誕120年記念 田坂具隆プログラム

現存する最古の田坂具隆作品である『更生』（1927年）の短縮版や、田坂自身が最も愛着を感じていた『この父に罪ありや』

〔『真実一路』改題短縮版〕（1937年）を初上映。

黒沢清監督の『回路』〔銀残し・再タイミング版〕（2001年）

林淳一郎カメラマンと、2001年に本作が完成した当時の現像所のタイミング（色彩調整）担当者による技術的監修のもと、封切り時と同じ「銀残し※」の手法でオリジナルの色彩を再現したニュープリントで上映します。

（※カラーフィルムの現像過程で通常は除去する銀を意図的に定着させる特殊な現像手法）



『明日は日本晴れ』



『生きてゐた幽霊』



『回路』

《未公開／国内で商業公開されなかった作品群》

『鐘』（1966 年、青島幸男監督）

多芸多才でテレビ界の寵児だった青島幸男が製作・脚本・監督・主演を担った初監督作。カンヌ国際映画祭批評家週間の招待作として『カイエ・デュ・シネマ』誌でも好評的な評価を得たが、国内では商業公開されなかった。

『^{げんじつ}幻日 夏目漱石「夢十夜」に據る』（1966 年、武智鉄二監督）

夏目漱石の小説に想を得て綴られる武智鉄二の異色作。本作は完成以来長らく未公開とされていたが、今回、美しいセピア調色が施されたプリントによる全長版での上映を行います。

《歴史・文化的に貴重な記録映画群》

『紅葉狩』（1899 年）のデジタル復元・最長版

2009 年に映画フィルムとして初めて国の重要文化財に指定された『紅葉狩』の赤染色版を新発見！赤染色版にしか存在しないフッテージも加えて、デジタル復元・最長版を作製しています。

林又一郎コレクションー初代中村鴈治郎をめぐるフィルム群

初代中村鴈治郎の長男・林長三郎（のちの林又一郎）が撮影、かつて所持していたプライベートフィルムを発掘！大阪・道頓堀の王者であった鴈治郎の舞台の名場面や後援会「林会」の行事、葬儀の様子等を記録した、上方歌舞伎ファン垂涎の貴重映像です。

『日本南極探検』（1930 年）デジタル復元・最長版

最古の長篇記録映画『南極探検活動写真』（1912 年）を後年に再編集した『日本南極探検』（1930 年）の全貌が初めて明らかに。



『紅葉狩』



『日本南極探検』

開催概要



上映会チラシ

発掘された映画たち 2022

英題：Cinema: Lost and Found 2022

会期：2022 年 5 月 3 日 [火・祝] - 5 月 22 日 [日] * 月曜休館

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール O Z U (2 階)

H P : <https://www.nfaj.go.jp/exhibition/hakutsu202204/>

掲載用のお問い合わせ先：050-5541-8600 (ハローダイヤル)

チケット：

4 月 26 日 (火) 以降、毎週火曜日 10:00am より、チケットぴあにて翌週 (火～日) 上映回の前売指定席券 (全席指定席) を販売します。[P コード：552-077]

通常回

一般：520 円／高校・大学生・65 歳以上：310 円／小・中学生：100 円／障害者 (付添者は原則 1 名まで)・キャンパスメンバーズ・未就学児：無料

弁士・伴奏付上映の回

一般：1,050 円／高校・大学生・65 歳以上：840 円／小・中学生：600 円／障害者 (付添者は原則 1 名まで)・未就学児：無料／キャンパスメンバーズ (教職員)：500 円／キャンパスメンバーズ (学生)：400 円

* 前売指定席券のみ販売いたします。会場でのチケットの販売はございません。

* 障害者 (付添者は原則 1 名まで)・キャンパスメンバーズの方も、前売指定席券をお求めください。

「発掘された映画たち 2022」 記者発表会のご案内

日時：2022 年 4 月 20 日（水）15:00～17:00 予定（14:45 受付開始）
会場：国立映画アーカイブ 小ホール（地下 1 階）

《第 1 部》（約 30 分＋質疑応答 10 分）

- 岡島 尚志（国立映画アーカイブ館長）による挨拶
- 大傍 正規（国立映画アーカイブ主任研究員）による企画の概要とプログラムの解説（上映あり）
- 児玉 竜一氏（早稲田大学文学部教授）による“林又一郎コレクション—初代中村鴈治郎をめぐるフィルム群”の解説（上映あり）
- 大澤 浄（国立映画アーカイブ主任研究員）による『明日は日本晴れ』の解説

《第 2 部》（計 72 分）

- 『紅葉狩』[デジタル復元・最長版] の上映（7 分）
- 『明日は日本晴れ』（1948 年、清水宏監督）の上映（65 分）

※第 1 部と第 2 部の間に休憩（約 10 分）があります。第 1 部のみのご参加も可能です。
※広報用の画像、動画をご用意しております。

※ご来場の際は、本状をご持参ください。

記者発表会への参加をご希望される場合は、本紙にご記入の上、4 月 19 日（火）15:00までにご返送ください。（「発掘された映画たち 2022」広報担当行き）

FAX 送付先：03-3561-0830

MAIL 送付先：pr@nfaj.go.jp

お名前	
ご所属・媒体名	
参加人数	
TEL/FAX	/
メールアドレス	
撮影のご希望	静止画 / 動画 / なし